

## 令和3年5月期月次景況調査結果

この調査結果は、中小企業庁の指定事業に基づいて設置された山口県内の情報連絡員 60 人に、本会が新たに選んだ 20 人を加えた 80 人の連絡員より業界動向を把握した結果です。

景況DI値は、先月まで3ヶ月連続して好転し景気回復感があったものの、5月期は、県内においても新型コロナウイルス感染症が再拡大したことにより、人の動きが止まり、足踏みの状態となった。

コロナ禍において景況DI値が最低であった昨年5月期に比べれば、多くの業種において売上等は増加しているものの、一昨年の水準には到底及ばず、資本力が乏しく後継者が不在の事業者の中には、廃業を検討する者もある。

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、ワクチン接種拡大の効果に期待を寄せながらも、未だ先行きの見通せない状況に不安感が増している。

### 山口県の主要指標 DI 値 (令和3年5月末現在)

※DI値とは、前年同期に比べ「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値です。

業界の景況 ( < 好転 > - < 悪化 > = < DI 値 > )

前年同月比は、好転：3.8% 悪化：46.3% DI値：▲42.5% ポイント

売上高 ( < 増加 > - < 減少 > = < DI 値 > )

前年同月比は、増加：20.0% 減少：40.0% DI値：▲20.0% ポイント

収益状況 ( < 好転 > - < 悪化 > = < DI 値 > )

前年同月比は、好転：12.5% 悪化：42.5% DI値：▲30.0% ポイント

### 山口県の業種別 DI 値(業界の景況) (令和3年5月末現在)

 30 以上	 30 未満～ 10 以上	 10 未満～ ▲10 以上	 ▲10 未満～ ▲30 以上	 ▲30 未満
--	--	---	--	---

食料品	織 維 工 業	木材・ 木製品	印 刷	窯業・ 土石製品	一 般 機 器	輸 送 機 器	全 製 造 業
▲62.5	0.0	▲66.7	▲50.0	▲16.6	▲22.2	0.0	▲34.3
							

卸売業	小売業	商店街	サービ ス業	建設業	運輸業	その他	全 非 製造業	全 体
▲60.0	▲37.5	▲100.0	▲54.5	▲36.4	▲28.6	0.0	▲47.9	▲42.5
								

## 特記事項（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）

食料品	新型コロナウイルスの影響と連休により、あまり動きが良くない。早く良くなることを願っている。	調味料製造業
	緊急事態宣言の延長に伴い、土産用菓子の動きが低調のまま続いている。加えて、県外大手資本の出店の影響で、近隣の洋菓子店の売上も低調。	パン・菓子製造業 山陽小野田市
	売上は対前年同月比では80%以上増加しているが、対前々年同月比では新型コロナウイルスの影響で10%減少している。	パン・菓子製造業 下関市
	人の動きが止まり、観光業界は最悪の状況である。ホテル、飲食、立寄り店等の需要が減少している。海の環境が変化し、ちりめん、いりこ、アジ等の原料魚が激減した。	水産食料品製造業 長門市
	コロナ禍の業況は、組合員の業種で異なり、変わらない組合員と、季節的に厳しい組合員に分かれている模様。数字的な部分は不明だが、今年の秋冬の業況は、新型コロナウイルスの状態とワクチンの普及率で変化すると考えている。	水産食料品製造業 下関市
	コロナ禍に慣れた経済の中で、売上も少しは回復できるかと思いきや、首都圏他の業況が更に複雑になったことで、回復の目途が立たず減少傾向にあるので、自粛等の条件緩和や雇用調整金の条件も見直して欲しい。中小企業に於いては体力勝負となっており、資本の少ない中小企業は継続が危ぶまれる。最後の砦、ワクチン効果に期待を寄せる。	
	5月も、新型コロナウイルスの蔓延に伴い緊急事態宣言が継続されるなど、前年に引き続き各種イベントが中止となった。屋外イベントについては、きちんとした防疫対策をとれば、クラスターの発生を抑えられるのに、科学的根拠の無い経済活動の制限については、今後行わないような措置が必要。ソーシャルディスタンスに基づく経営活動を遂行するための中小企業向けの支援対策を早急に充実させ、コロナウイルスを抑え経済活動の回復を図ることが必要である。飲食店の時短要請などにより、関連食材の売り上げも激減し、特に山口県の日本酒メーカーの売り上げ減少が酒米の買い控えというところにつながっており、影響が多岐に広がっている。梅雨入り宣言が5月にあるなど、今年も異常気象が続いている。脱炭素社会への急速で積極的な取り組みが必要である。	精穀・製粉業

繊維工業	<p>中国人の技能実習生 4 名が帰国。現在の技能実習生人員は、中国人 22 名、ベトナム人 26 名、合計 48 名である。新型コロナウイルスの感染拡大の最中だが、中国人技能実習生とベトナム人技能実習生の入国許可が下りた。しかし、現状では、中国人技能実習生は関西国際空港、成田空港のみの入国許可となり、最寄りの福岡空港への入港は許可されず、隔離等を考慮すると、入国させるのは依然として困難な状況であることに変わりはなく、新型コロナウイルス終息までは難しいのではと懸念している。</p>	下着類製造業
	<p>ロットは小さいが、生産計画は 4 ヶ月先まで決まっている。</p>	<p>外衣・シャツ製造業 山口市</p>
木材・木製品	<p>前月同様に、木材（米松）の高騰により大変な状況となっている。日割りで価格が上昇する上、注文してもいつ入荷するかは未定。仕事自体は結構順調だが、現在は木材だけでなく建材の価格も上昇している状況。この状況がいつ改善されるか不安。</p>	<p>製材業・木製品製造業 岩国市</p>
	<p>売上高はコロナ前の前々年同月比は 20%の減少で、コロナ禍の前年同月比は 10%の減少。世界的な木材不足と木材高騰のいわゆる「ウッドショック」状況の中、国産材の需要は高まる一方である。当地域の製材所関係においては工務店からの引き合いも多く来ているようだが、注文の量および価格について国産材および外材の確保等、先々の供給対応の可否が見通せず契約出来ない状況となっている。木材価格については、取引先によって価格差が大きいようで地域材（杉、ヒノキ）で前年同月比で概ね 2 割～3 割以上の増で推移しているようだが、未だコロナ禍での取扱量が影響し売上の回復には至っていない状況である。</p>	<p>製材業・木製品製造業 下関市</p>
印刷	<p>3 度目の緊急事態宣言の発出と期間延長、新たに 3 地域への緊急事態宣言の追加発出等、今年度も新型コロナウイルスの影響は収まるどころか、拡大の一途を辿っている。山口県においても過去にない程の感染者の増加傾向にあり、様々な活動自粛、制限はワクチン接種が進まない限り緩和、解除には至らないのではないかとと思われる。印刷業界は、受注量そのものは前年とあまり変わらない状況であるが、例年に比較すれば大幅に減少していることは明白であり、7 月の東京オリンピックも政府は開催する方針とというものの世論は中止に傾きつつあり、もし急転直下中止となれば、印刷業界への影響は非常に大きいと予想される。</p>	<p>印刷 下関市</p>
	<p>強みでもある冊子の受注が減少しており、従業員も休ませざるをえない状況。</p>	<p>印刷山口市</p>

窯業・土石製品	出荷量は、 (令和2年5月)骨材 112%、路盤材 73%、再生材 105% ↓ (令和3年5月)骨材 87%、路盤材 97%、再生材 111%	砕石製造業
	出荷量は、前月比 86%、前年同月比 98%。現時点では、セメント・骨材等の資材調達は、特に問題は生じていない。生コン販売価格は安定している。	生コンクリート製造業 山口市
	新型コロナウイルスの影響よりも、梅雨に入るまでに現場を済ませようと思っていたが、例年より早い梅雨入りで仕事に影響が出ている。	石工品製造業
	5/1～31までweb萩焼まつりを実施。市内窯元・小売店 30 店が参加しHP上のマップにより各事業所を紹介した。また、参加 23 店をECサイトへリンクさせネット販売も実施した。5月の市内小売店の売上は、前年同月比 200～500%と、営業自粛していた前年より比較にならない程大きくアップした。大都市における百貨店や小売店への卸販売は、緊急事態宣言や蔓延防止等重点措置の下、営業自粛や時短営業による集客の減少等により大きく落ち込んだ。	陶磁器・同関連 製品製造業
一般機器	新型コロナウイルスの影響で、外国人技能実習生の面接が出来ず、引き続きリモート面接に変更し対応している。	一般機械器具製造業 岩国市
	5月は例年通り、コンビナートの春の大型定修工事期間に入っており、組合員の大半は日頃より忙しくしていた。コロナ禍においても、どうしても多人数での定修工事となるが、みな感染対策を講じての繁忙期であった。しかしその分、今までにない経費が生じている。	一般機械器具製造業 下松市
	県内の新型コロナウイルス感染者累計が、3月末から5月末で 780 人増加しており、街の人通りが減少している。組合員の営業活動状況はここに来て低迷している。中国と取引の組合員は、追加工事の受注が競争入札となったため受注が中断している。自動車メーカー関連の組合員は材料の高騰により収益が悪化してきた。自動車金型関係は順調だが、建設業関係の組合員は、コロナ禍、ビールの消費が減少し、大手ビール工場の定期メンテナンスの受注が困難になった。	一般機械器具製造業 防府市
	新型コロナウイルス蔓延による企業業績への影響はほぼ無い。しかし、外国人の入国が出来なくなり、人手不足から残業が増加するとともに事業継続に支障が出てきており、入国制限の早期解除が望まれるところである。また、特定技能への切り替えにより都市部の企業への転籍、また、若干ではあるが帰国者も出てきており、各企業とも人員の確保に苦慮している。なお、帰国困難な人については、特定活動への在留許可の切り替えにより対処しているが、企業によっては待遇の	一般機械器具製造業 宇部市

	改善により引き留めに努めている状況である。この中途半端な状況が長引くと、モチベーションの維持が難しくトラブルの発生につながることを懸念される。	
	受注は前年同月比で横ばい。大きな変化は見られない。	
輸送機器	コロナ禍で、仕事の停滞感が続いている。社内の感染防止と感染した（本人・家族・取引先等）場合の準備、対策等業務外のことでエネルギーを費やすので、早期のワクチン接種と新型コロナウイルスの終息を願う。鉄道車両関係の受注は新車両も計画されており、生産予定はあるが世界的なコロナ禍の状況で減少も見込まれる。半導体は当初の予定よりは多少受注が減少していたが、上期後半から下期にかけて最大規模の作業量が見込まれる。	鉄道車両・同部品製造業
卸売業	新型コロナウイルスが長引き外食関連の流通が減少していると見受けられる。その結果、肉や海産物（かき）の入庫が減少しており、倉庫売上は、昨年と比しやや落ち込んだが、一昨年以前と比べると同等程度である。	乾物卸売業
	後継者不在や長引く新型コロナウイルスの影響によりふく生産者が減少し、今年のふくシーズンはかなり苦しい状況になると予想している。	生鮮・魚介卸売業
小売業	月前半の自社店舗の売上は、対前年同月比でかなり厳しい状態。梅雨入りしたが、それ以前は肌寒い日が続いたため、夏物化粧品の売れ行きが悪かった。例年より早い梅雨入りで、客足も遠のき、売上も落ち込む可能性も否めない。県内化粧品専門店全体の売上は、対前年同月比で横ばい。新型コロナウイルスの影響でリップなどは売れ行きが落ちたが、目元周りのアイメイク関連（アイライナー・アイカラー・アイブローなど）がよく動いているとのこと。今月は各メーカーから限定商品がでていたため、僅かながら売り上げに貢献した模様。	化粧品小売業
	前年産米の不作に伴う、顧客農家の生産意欲の減退が見られ、機械の購入を控えているように見受けられる。	農業用機械器具小売業
	5月の家電の売上は前年同月比で85%位である。	機械器具小売業
	駐車サービス券の販売が増加しており、前年同月比で約120%の売上となったが、売上全体では前々年比50%である。前年よりは好転しているが、収益状況は良くない。駐車サービス券販売は増加しているが、5月中旬より現金の駐車場売上が悪化している。貸ホールの売上については、昨年同月は取消料（キャンセル料）の収入があったが、今年は申込み自体が少ない状況なので、前年より悪化している。	各種商品小売業 周南市

	前年5月は新型コロナウイルスの影響でGWを臨時休館としたので、この5月の売上は、対前年同月比で2倍以上となっているが、平年と比べると、25%程度のマイナス推移。今年のGW期間も平年の7割程度と新型コロナウイルスの感染拡大による影響が大きい。山口県内での感染者も増加傾向、広島や福岡など隣接県では緊急事態宣言も出ているため当面の間、客足の鈍さが続くと思定している。	各種商品小売業 萩市
	5月の前年比供給高86.6% 来店者数88.3%。下関市の感染者数増加により、不要不急の外出を自粛される方が増えているようすが、下関市の地域振興券のおかげで、消費者の購買意欲が増していると思う。自粛生活が続く中、お店の売れ筋が変化し、ご飯のお供やスイーツの材料などが売れ、今まで売り切れたことがない商品がなくなったりした。	各種商品小売業 下関市
商店街	市民が楽しみにしている春のイベントが中止となり、商店街の活気が失われつつある。沈滞ムードが増幅するか否か、今後の展開が心配である。	宇部市
	売上は4月に比べ20%位減少していると思われる。特に飲食関係が厳しく、飲食店はゴールデンウィークに多少期待していた様だが、収入も半減し思うようにならなかった様子。また、後半になると商店街の来街者が大きく減少している。店主が店先に立って「人通りがない」と嘆きの声を出していた。	萩市
	当地区にも新型コロナウイルス感染が広まっている為、食料品関係は持ち直しているが、商店街全体としては来客数が激減している。今年度夏のイベントも殆どが中止となっている状況である。	下関市
サービス業	新型コロナウイルス感染拡大防止集中対策期間が、5/18～5/31まで出された。今年は、ゴールデンウィークから外出を控える傾向にある中、美容室に来店されるお客様が増え、中旬までの売上は、対前年度月比で大幅に改善（前年が悪すぎたため+30%UP）するも、徐々に感染者が増加し、上記の期間が設けられた事もあり、昨年の数字に近づいている。	美容業
	5月中旬ごろから、自粛ムード等により低迷の状況。	理容業
	昭和40年代に整備業を起業した組合員が70歳後半から80歳を超えてきており、後継者がいないために廃業に至るところがポツリポツリと出てきている。話を聞いてみると後継者問題もあるが、あまりにも急速に進む自動車の進歩にあるという。高齢整備士には新技術に付いていけないという実態が浮かび上がるが、この状況は今後も続きそうである。	自動車整備業
	新型コロナウイルスで大変な状況。緊急事態宣言の影響は大きい。	スポーツ・健康教授業

	5月はクリーニング店にとっては最も忙しい月の一つであるが、今年は例年に比べて仕事が少ないという店舗が多いようである。当店でも5月半ばに梅雨入りが発表されてからは売り上げが伸び悩んだ。天候や気温などに左右されやすく、春の衣替え繁忙期頼みなどところがある業界ではあるが、今後は年間通して消費者に必要とされるサービスを展開する必要があるように思う。	普通洗濯業
	山口県、山口市での新型コロナウイルス感染拡大につき2週間営業を自粛。1日も早い終息を願っている。	飲食業
	緊急事態宣言が延長されたため、4月と比べ状況は悪化している。前年5月よりも悪化しており、前々年5月の僅か1.4%の売上である。	旅行業
	前年5月と比べ、売上373.8%、宿泊人員407.2%となったが、新型コロナウイルス感染の影響のなかった前々年5月と比べると、売上44%、宿泊人員47.5%と非常に厳しい状況が続いている。コロナ禍の令和2年との比較はナンセンス。	旅館業 山口市
	前年は休館していた施設も多く、対前年同月比で売上は増加している。また、前年は給付金や補助金もあったが、今年は今のところ無い。また緊急事態宣言の延長で、再び予約キャンセルが続出している。	旅館業 下関市
建設業	中電への工事申請111件(当支部91件)、前年同月170件(同141件)。太陽光発電への申請15件(前年31件)、オール電化申請65件(前年111件)。LED街路灯への切り替え・新設申請25件(前年11件)であった。	電気工事業
	工事量の少ない状態は続いているが、数ヶ月先の工事受注が見込まれるようになった。左官技能者については25年余りで7割減少する等、建設技能者が大幅に減少している中での技能者余剰は、業界縮小に拍車をかけることになる。	左官業
	新型コロナウイルス関連の影響はほとんどないが、先月同様に5月分の入札件数が少なく、不安に思っている。6月以降の発注に期待をしている。	管工事業
	山口県東部において新型コロナウイルス感染が急拡大し、聖火リレーも中止となった。全国的には、3度目の非常事態宣言が発令されたが、感染拡大に歯止めがかからない状況である。特に感染力の強い変異株ウイルスの感染拡大が心配される。こうした中、当組合では、総会を急遽中止し書面決議に変更した。あと2ヶ月に迫ったオリンピック・パラリンピックが開催されるのか否か、その決定が何時になされるのか、国民の関心事でもある。土木建設業界では、地域内において	土木工事業 柳井市

	も、自治体間で発注の度合いが異なり、町庁舎の建設工事のみの町もある状況。	
	5月の受注高は、対前年同月比 6.4%。今年度の累計では、対前年比 115.6%。	土木工事業 萩市
	土木工事は、新型コロナウイルスの影響なのか、受注状況は前年を下回っており、厳しい経営環境となることが考えられる。	土木工事業 長門市
	小規模物件が多いため、同業者間の手伝い等で仕事量を確保している。見積も小規模物件が多く、大型物件があっても計画見積で実際の工事に結びつきそうにない。材料の急激な値上げなど先行きに不安を感じている組合員が多い。	鉄骨・鉄筋工事業
	新型コロナウイルスの影響で、売上が減少している。	内装工事業
運輸業	輸送関係はコロナウイルスの影響で、国内向け輸送は減少、輸出関係は横ばいの傾向が継続している。売上は前年同月比で 0.5%のマイナスである。兎に角、一日も早い収束を願望する。燃料費関係は1円の値上げ。中小輸送業者の稼働率は月毎に減少しているため、燃料費の値上げは大きな痛手となっている。軽油引取税の引き下げを切望する。	一般貨物自動車運送業 下松市
	組合の輸送取扱高については対前年比 30%程度増加の見通し。前年比では増加だが、前年は、車部品供給の停滞等により例年の 50%以下の状況にあった。半導体の供給不足等により自動車関連については、依然として操業調整が続いている。	一般貨物自動車運送業 防府市
	運送について、全体的には荷動きは微増といった感じである。倉庫保管案件も増えており、特に化学工業製品や小売雑貨品等の保管案件が多い。これからスタッドレスタイヤ等の季節ものの輸送が増えることが予想される。人員は、業務内容にもよるが何とか充足している状況である。	一般貨物自動車運送業 宇部市

	<p>タクシーチケットの取扱い金額（税込み）は、前年比+57.1%（令和3年4月1日～令和3年5月20日分）。4月1日～30日分は+62.2%、5月1日～20日分は+47.2%。前年度分がコロナで大幅に落ち込んだため（前年4月分は▲70.1%）、前々年度比は、それぞれ ▲50.4%、▲51.4%、▲52.6%。当組合の取扱いタクシー事業者は、光市，下松市，周南市，防府市の地域。4月分については、周南+68.8%，下松+40.8%，光+110.8%，防府市地区が+69.8%で、組合員の全域では+67.7%、地区外（員外）+25.9%、合計+62.2%（+4,044千円）。主要燃料であるLPGについては、CP（通告価格）と為替に連動して変動する。CPが下がり（前月562.5\$/トンが今月502.5\$/トン、前年290.0\$/トン）、輸送用バンカーC重油も下がり（前月533.0\$/トンが今月528.0\$/トン、前年248.0\$/トン）。為替は円安（前月109.63円/\$が110.14円/\$）です。燃料単価は前月▲4円/ℓ（▲5.3%）となったが、前年5月が低かった事もあり、前年比+22.4%となり、収入が落ちている中たいへん厳しい状況。タクシー乗務員は労働条件が厳しい（賃金が少ない）事もあるため、採用側も慎重になっており、車両の稼働率は低下する一方である。前年の4月が極端に減少したため、少し回復したように見えるが、前々年度比では▲50%の状態であり、ほとんどのタクシー事業者は欠損となっている。資本力や後継者が難しい事業者は廃業を検討するところもある。ワクチン接種が進み、早く経済が回復しないと、事業そのものが皆無となり、回復がますます困難になると危惧される。</p>	一般旅客自動車運送業
	<p>5月は、前年7月から取扱い始めた石炭代替材の取扱が多く、対前年比を上回った。この要素と、令和2年5月に突出した貨物（石灰石）の要素を排除しても、対前年同月比は同程度である。従って、当港ではコロナ禍での影響は少ないと推測される。</p>	港湾運送業 小野田市
その他	<p>新型コロナウイルスの影響により入国待ちの状況が引き続いているが、延長の可能性はある。ただし、顧客は増加傾向にある。</p>	介護事業